百物語の終わりに一絵金蔵を中心に香南の魅力を体感するイマーシブミステリーー

やっぱり香南市がえい！香南市魅力発掘プロジェクト（香南市・FLASPO）応募企画書［公開用］

① 香南市のどんな魅力に注目したか、選んだ理由と合わせて教えてください

絵金（絵金蔵）のおどろおどろしくも美しい唯一無二の世界観/幕末から絵金の作品を守り続けてきた赤岡の歴史

一綺麗に整備された観光地よりも、地域にしかないリアルな歴史や、人情を感じる文化を自ら読み解く過程にこそ地域のファンになる要素が詰まっていると感じたから。絵金と彼を巡る歴史の背景は非常に魅力的であり、私自身高知を訪問したことはないが、絵金蔵や絵金祭の存在はぜひ訪れたいと強く思うきっかけになった。

② その魅力をもとに、若者が「関わってみたい」と思える企画・コンテンツを提案してください

・目的： 旅行者をただ町を消費する観光客ではなく、ゲームの登場人物として町に巻き込むことで香南市の歴史や絵金のファン（関係人口）を創出すること。コンテンツとして紹介しやすいツアーを生み出すことでSNSなどにおける香南市の知名度向上を図る。

・ターゲット： 20代の旅好き・ゲームプレイヤー・ミステリーファン・カルチャー層

・企画概要：没入型フィールドマーダーミステリー

近年若者に絶大な人気を誇るマーダーミステリー（参加者が物語の登場人物になりきり、会話や調査を通じて事件の真相を解明する没入型の推理ゲーム）は一般的に都市のレンタルスペースなどで行われるが、これを絵金蔵を中心として赤岡町全体をフィールドに設定して実施する。

赤岡の町及び絵金蔵をそのまま利用して、自らの足で歩き話を聞いて歴史を知る体験を促進する。

③ 具体的な企画の行程・実施イメージを教えてください

催行人数：1回5名

所要時間想定：3.5〜4時間

販売価格：1泊二日航空券・宿泊付きプラン　50,000円〜55,000円/名

現地集合（体験・飲食のみ）プラン　10,000〜15,000円/名

配布物：役職説明・冊子（役職ごとに異なる情報を記載）・クーポン1000円分・リストバンド

15:00~　開演：「百物語の幕開け」@須留田八幡宮（またはその近辺）

昼下がりの境内で語りからスタート。絵金と赤岡の歴史が語られる。（スタッフによる講演もしくは映像）

参加者はそれぞれの役職と冊子、そしてクーポン（町中の商店や喫茶店で使用可能）を受け取る。

15:30~　町内散策

配布されたクーポンを片手に赤岡の街を散策。リストバンドを見た地元の地元の人が情報をくれるかも。（リストバンドをつけた観光客への対応マニュアルを配布。会計時に天気の話をするなど簡単な内容。）

この間に食事をとってもよい

18:30~　絵金蔵へ（可能なら閉館後貸切、難しければ行程再検討）

一般閉館後の暗くなった蔵へ。突如館内に異音が響き、参加者は心霊現象と恐怖する。

実際の展示室にて絵金の展示を見ながら、会話と観察によって真実を突き止める。

20:00　終演「絵金の真実」

感想戦などによる交流

（絵金蔵の閉館後貸切が難しい場合、開演10：00、終演15：00として日帰りツアーにする）

④ そのアイデアをどうやって若者に届けるか、発信方法・広め方を教えてください

ネタバレ禁止を逆手に取ったSNS拡散。高知の絵金蔵というところでなにか面白いことがあるらしい、という感想を広めてもらう。マーダーミステリーは一生に一度しかプレイできないゲームであり、体験者はぜひ他の人にも体験してもらって感想を言い合いたいという動機から口コミ拡散やUGCの創生が見込める。初動はインフルエンサーに発信を依頼するのもよいかもしれない。絵金蔵という視覚的なインパクトを前面に押し出す。

都市圏のマダミス専門店やゲームコミュニティと連携を取り、パッケージツアーとして広告を打つ。もともと没入型ゲームやミステリーに興味のある層を取り込む。

⑤ あなたの企画に参加した若者は、どのように香南市への興味・関わりが変化すると思いますか

・参加前： 絵金蔵という一風変わった展示があるらしい。エンタメ目的。

・参加中： 物語の舞台

自身がキャラクターとして町を散策する中で参加者や地元の人と交流し、歴史を紐解き、絵金の作品を観察する過程で、町の歴史や文化を「自分事」として強く実感する。

・参加後：　香南・絵金のファン

観光地から、思い入れのある特別な街に。圧倒的な知的達成感を得る。赤岡の歴史、絵金の歴史に詳しくなる。

絵金祭に参加するためリピーターになる。

香南のアクセスの良さから、より身近に感じられるようになる。

体験を共有したくなる。

⑥ 1泊2日のフィールドワークでは、どこを訪問して何を確かめたいですか

絵金蔵及び赤岡周辺

実際に歩き回って店や蔵を訪問し、自身が造詣を深めるとともに、実際に企画を成立させるために行程を検証したい。

⑦その他、工夫した点、補足となる資料・スライドなどがあれば記入・添付してください

マーダーミステリーについて/企画案詳細/シナリオ概要（リンク参照）

（リンクは掲載していません）

※応募内容のうち、氏名・住所・出身地などの個人情報、アンケート回答、図表・添付資料、外部リンクを除いて掲載しています。企画書の著作権は考案者に帰属します。